

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和7年1月29日

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現（重点計画）							重点配分対象の該当	○		
計画の期間	令和7年度～令和11年度（5年間）			交付対象	笠岡市						
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。										
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を60%（R7）から62%（R11）へ向上させる。										
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					
						当初現況値 （R7当初）	中間目標値 （R9末）	最終目標値 （R11末）			
	①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）					60%	61%	62%			
全体事業費	合計 （A+B+C+D）	1,100	A	1,100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）

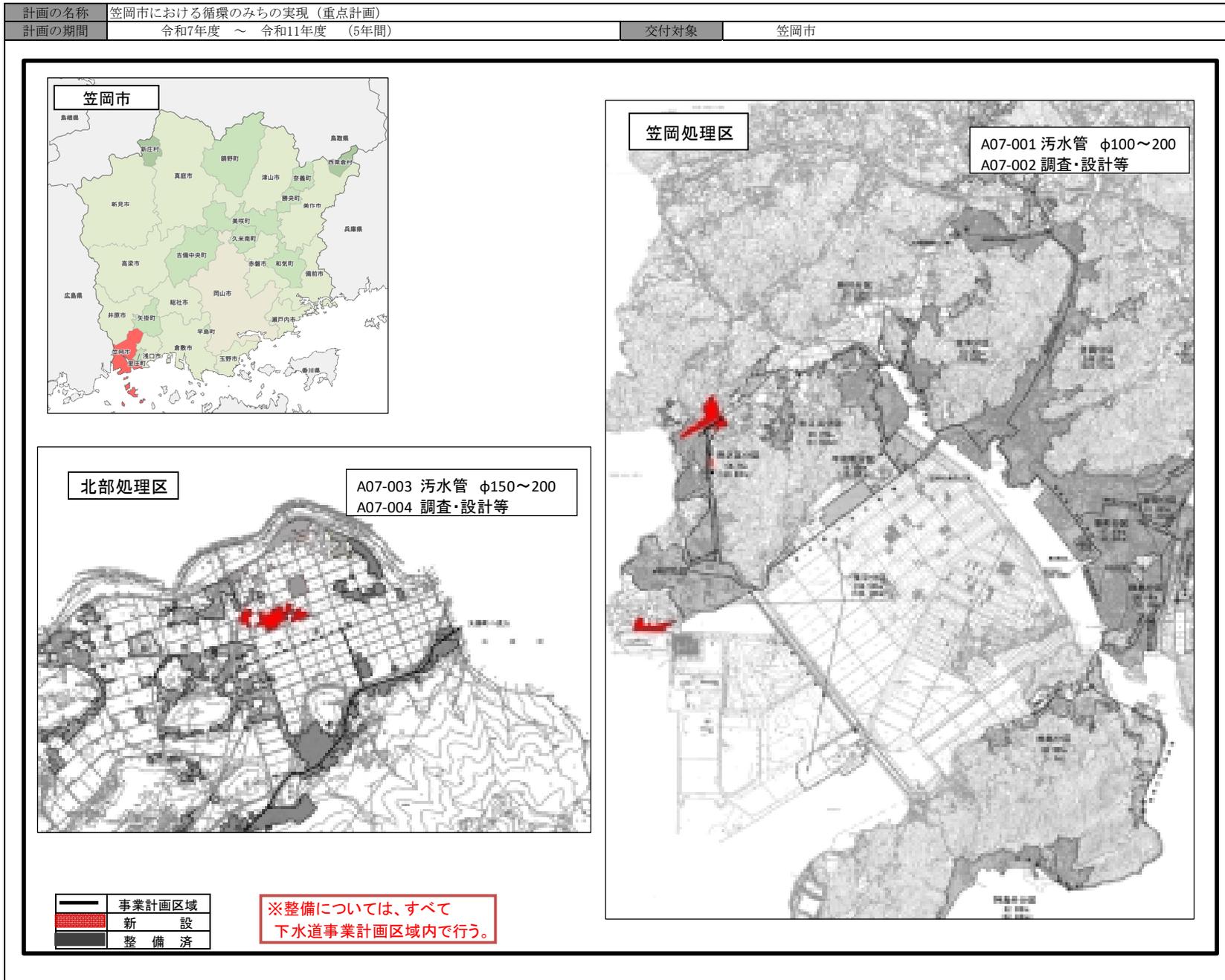
交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R7	R8	R9	R10	R11				
A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	—	管渠（汚水）	新設	笠岡処理区	汚水管φ100～200 L=5.0km	笠岡市						600			
A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	—	管渠（汚水）	新設	笠岡処理区	調査・設計等	笠岡市						50			
A07-003	下水道	一般	笠岡市	直接	—	管渠（汚水）	新設	北部処理区	汚水管φ150～200 L=5.0km	笠岡市						400			
A07-004	下水道	一般	笠岡市	直接	—	管渠（汚水）	新設	北部処理区	調査・設計等	笠岡市						50			
											合計		1,100						
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
									R7	R8	R9	R10	R11						
											合計		0						
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11						
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11						
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R7	R8	R9	R10	R11
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

令和7年度 ～ 令和11年度 (5年間)

計画の名称: 笠岡市における循環のみちの実現(重点計画)

事業主体名: 笠岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
1)都道府県構想(クリーンライフ100構想)に適合している。	○
2)これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検(4つの点検)」の実施結果を反映している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2)下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
3)計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○